



特別管理産業廃棄物処理計画書

2024 年 5 月 31 日

いわき市長 殿

提出者

住 所 福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23-6

氏 名 古河電池(株)いわき事業所

事業所長 新妻 郁浩

電話番号 0246-43-0080

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

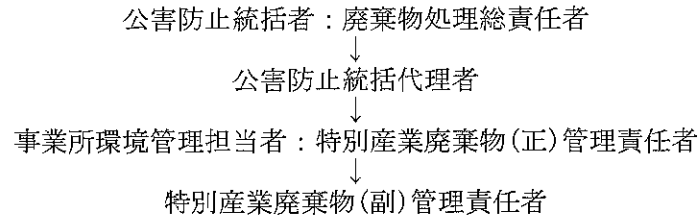
事業場の名称	古河電池株式会社 いわき事業所
事業場の所在地	福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23-6
計画期間	2024年4月1日 ～ 2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	電気機械器具製造業・鉛蓄電池製造業
② 事業の規模	17,171,022千円(2023年度製品生産額)
③ 従業員数	550名(2024年4月1日現在)
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	(1) 収集運搬業者：ミヤマ株式会社、処分業者：ミヤマ株式会社 (2) 収集運搬業者：ミヤマ株式会社、処分業者：野村興産株式会社 (3) 収集運搬業者：イコールゼロ株式会社、処分業者：イコールゼロ株式会社 (4) 収集運搬業者：株式会社クレハ環境、処分業者：株式会社クレハ環境 (5) 収集運搬業者：ミヤマ株式会社、処分業者：ミヤマ株式会社

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	排 出 量	0 t	0.114 t
	（これまでに実施した取組） PCB等 ・PCB含有製品廃棄済み 廃水銀等 ・分析関係の要望によって変動あり		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	排 出 量	0.0 t	0.1 t
	（今後実施する予定の取組） PCB等 ・PCB含有製品廃棄済み 廃水銀等 ・低減は計画しているが、分析関係の要望によって変動あり		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工程ごとに発生したものをそれぞれに保管している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 工程ごとに発生したものをそれぞれに保管する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	0.114 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.114 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	PCB等 ・PCB含有製品廃棄済み 廃水銀等 ・分析関係の要望によって変動あり		

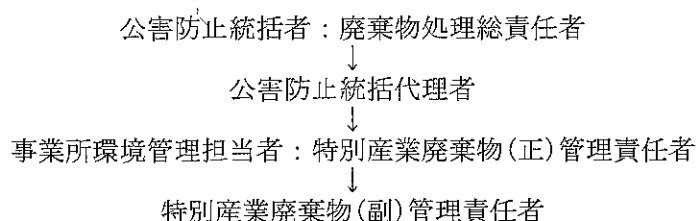
(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB等	廃水銀等
	全 処 理 委 託 量	0.0 t	0.1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	0.1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	PCB等 ・PCB含有製品廃棄済み		
	廃水銀等 ・低減は計画しているが、分析関係の要望によって変動あり		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	156.264	t
	(今後実施する予定の取組) ・2019年9月より電子マニフェスト導入し管理。		
※事務処理欄			

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	排 出 量	65.28 t	90.18 t
	(これまでに実施した取組)		
	強酸 生産数の増加も考えられるが、ラインによる管理を徹底 汚泥(有害) ・生産数の増加も考えられるが、ラインによる管理を徹底		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	排 出 量	60.0 t	80.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	強酸 ・引き続きラインによる管理を徹底 汚泥(有害) ・引き続きラインによる管理を徹底		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程ごとに発生したものをそれぞれに保管している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程ごとに発生したものをそれぞれに保管する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

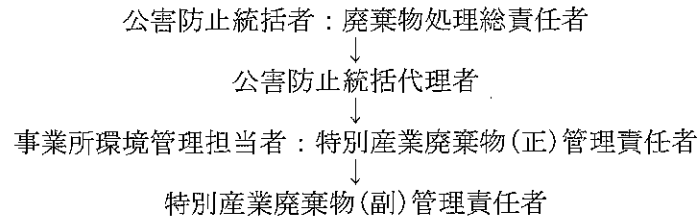
①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	全処理委託量	65.28 t	90.18 t
	優良認定処理業者への処理委託量	65.28 t	90.18 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	強酸 ・生産数の増加も考えられるが、ラインによる管理を徹底		
	汚泥(有害) ・生産数の増加も考えられるが、ラインによる管理を徹底		

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	汚泥(有害)
	全 処 理 委 託 量	60.0 t	80.0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	60.0 t	80.0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	強酸 ・引き続きラインによる管理を徹底		
	汚泥(有害) ・引き続きラインによる管理を徹底		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度 (2023 年度) 実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	156.264	t
	(今後実施する予定の取組) ・2019年度9月より電子マニフェスト導入し管理。		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	0.012 t	t
	（これまでに実施した取組） 感染性廃棄物 ・診療所にて管理を徹底		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	0.010 t	t
	（今後実施する予定の取組） 感染性廃棄物 ・診療関係にて管理を徹底		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 使用ごとに発生したものをそれぞれに保管している。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 使用ごとに発生したものをそれぞれに保管する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	0.012 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.012 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	感染性廃棄物 ・診療所にて管理を徹底		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全 処 理 委 託 量	0.010 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.010 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物 ・診療所にて管理を徹底		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度 (2022 年度) 実績】		
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	154.264	t
	(今後実施する予定の取組) ・2019年度9月より電子マニフェスト導入し管理。		
※事務処理欄			